

## 抜本的見直しに向けた取組状況

(法人名)

(株) 湘南国際村協会

### 抜本的見直しに向けた取組状況

令和2年4月 ～ 令和3年3月	<p>1 改訂第四次経営計画における取組の実施</p> <p>計画の3年度目となる令和2年度(2020年度)は、4月9日以降、湘南国際村センターは神奈川県が新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されたため、宿泊人数は、4月当初の通常営業時における380人のみであった。</p> <p>また、売上高531百万円、営業利益72百万円であるが、売上高は、神奈川県からの借上げ料が枢要を占めた。</p> <p>今後、宿泊研修施設として、本来の営業を再開する際は、次に掲げる取組などにより事業の不断の見直しと改善を進めて、業績向上に全力で取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ リピーターの利用継続に向けた、一顧客一担当制によるきめ細かい対応と定期的な営業活動の展開</li><li>・ 神奈川県の関連団体や企業へ県とともに働きかけ、特に閑散期における新規顧客の利用を誘致</li><li>・ ネットエージェントの活用や、新規問合せを成約につなげる積極的フォロー等による新規顧客の開拓</li><li>・ 新利用料金の円滑な導入</li><li>・ 国際会議や学会の誘致のため、大学、研究機関等をターゲットとして、県の助成制度と連携し、学会事務局業務の代行のアピールとともに営業活動を展開</li><li>・ 効果的な広報の充実(企業・大学・学校等の顧客別のニーズに合わせたPRや、ホームページ等を活用したわかりやすい情報提供)</li></ul> <p>2 営業利益</p> <p>売上高は531百万円、営業費用は458百万円となり、営業利益は72百万円となった。</p>
-----------------------	--

### 所管課の指導・調整内容等

県は、改訂第四次経営計画における取組が着実に実施されるよう、国際会議の誘致・定着への支援などを予定していたが、令和2年度から現在まで、湘南国際村センターは神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されている。

今後、宿泊研修施設として本来の営業を再開する際は、県としても、改めて関係団体に研修等での利用を呼びかけるなど、円滑な営業再開に向けて、協会と一丸となって取り組んでいく。

※ 必要に応じて資料を添付してください。

## 経営改善目標の達成に向けた取組状況

## 1 法人の概要（令和3年7月1日現在）

法人名	(株) 湘南国際村協会				
設立年月日	平成元年10月17日	代表者名	代表取締役社長 國重 正雄		
所在地	三浦郡葉山町上山口1560-39	電話番号	046-855-1811		
基本財産等	494,000,000 円	県出資額	1,020,000,000 円	県出資率	40.8 %
		※ 評価額	201,552,000 円	※ 評価額から算出	

## 2 法人運営における現状の課題

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| ① 湘南国際村基本計画を踏まえた事業の展開 | ② 安定的な売上の確保 |
| ③ コスト管理の徹底            | ④ 計画的な修繕の実施 |
| ⑤ 事業再開後の利用促進に向けた準備    |             |

## 3 経営改善目標の達成に向けた取組実績等

\* 項目ごとに、下段の（ ）内に目標を、上段に実績を記載してください。

## 【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	3年度	4年度	2年度自己評価
1	宿泊人数	人	35,145 ( 33,300 )	31,241 ( 33,600 )	380 ( 33,400 )	( 34,200 )	( 34,500 )	B
	自己評価の理由				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	令和2年度は、4月9日以降、湘南国際村センターが神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されたため、宿泊人数は、4月当初の通常営業時における380人のみで目標を達成できなかった。本来の事業を行えなかった状況を勘案した。 なお、神奈川県は、宿泊療養施設として、療養者を約1,400人、延べ人数にして約10,200人（療養者数に泊数を乗じた数の合計）を受け入れた。				令和3年度も引き続き、神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されているが、今後、宿泊研修施設として本来の営業を再開する際は、引き続き改訂第四次経営計画の目標を達成するよう経営改善に取り組んでいく。			
	備考							

No.	項目	単位	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	3年度	4年度	2年度自己評価
2	売上高	百万円	611 ( 597 )	550 ( 602 )	531 ( 632 )	( 642 )	( 645 )	B
	自己評価の理由				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	令和2年度は、4月9日以降、湘南国際村センターが神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されたため、売上高は、神奈川県からの借上げ料が枢要を占めたことを勘案した。				令和3年度も引き続き、神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されているが、今後、宿泊研修施設として本来の営業を再開する際は、引き続き改訂第四次経営計画の目標を達成するよう経営改善に取り組んでいく。			
	備考							

No.	項目	単位	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	3年度	4年度	2年度自己評価
3	営業利益	百万円	84 ( 64 )	58 ( 63 )	72 ( 71 )	( 80 )	( 84 )	B
	自己評価の理由				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	令和2年度は、4月9日以降、湘南国際村センターが神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されたため、売上高が、神奈川県からの借上げ料が枢要を占めたうえでの営業利益であることを勘案した。				令和3年度も引き続き、神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されているが、今後、宿泊研修施設として本来の営業を再開する際は、引き続き改訂第四次経営計画の目標を達成するよう経営改善に取り組んでいく。			
	備考							

#### 4 取組実績等についての総括（法人）

令和2年度においては、全国的に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が大きく広がり、4月7日には、国から神奈川県を含む7都県に1回目の「緊急事態宣言」が発令され、医療提供体制のひっ迫のおそれが伝えられた。

湘南国際村センターにおいては、前年度に続き4月1日から通常の営業を行っていたが、神奈川県から、新型コロナウイルス感染症に係る「宿泊療養施設」として借り上げたい旨の協力要請を受け、同月9日から、軽症者等の受入れ施設として利用されることとなった。

当社としても、「宿泊療養」実施の趣旨である医療現場の負担軽減に協力するため、取締役会の決議を経て、受入れに同意した。

このような状況により、売上高は、神奈川県からの借上げ料が枢要を占め、531百万円となった。

営業費用は、計画修繕工事及び感染防止対策工事を含めて、458百万円となり、この結果、営業利益は、改訂第四次経営計画の業績目標を超える72百万円となった。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ほぼ年度を通して通常営業を行うことはできなかったが、新型コロナウイルス感染症対策を進める神奈川モデルの一翼を担うことにより、県の医療提供体制の維持運営に貢献することができた。

#### 5 取組実績等についての総括（所管課）

令和2年度は、4月9日以降、湘南国際村センターにおいて、県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営され、ほぼ年度を通して通常営業を行うことはできなかったが、宿泊療養施設として、県の医療提供体制の維持運営に貢献したこと、また、この間も、従来からのリピーター等に対して継続したフォローを丁寧に行い、次の利用に結び付ける努力を続けており、評価できる。

今後、宿泊研修施設としての本来の営業が円滑に再開できるよう、そうした取組を継続することを期待する。

#### 6 第三セクター等改革推進部会の総合評価・今後の取組に向けた意見

評価結果	新型コロナウイルス感染症対策としての神奈川モデルの一翼を担ったことは県民に対して重要な役割を果たし、高く評価できる。ポストコロナ禍において柔軟な取組により、経営改善目標を達成されることを期待したい。
B	